

助成年度：平成 18 年度

[所属] 京都大学大学院 農学研究科
[役職] 教授
[氏名] 藤原 建紀 (他計 2 名)

[課題]

貧酸素水塊の発生機構およびその物質循環・沿岸生態系におよぼす影響

[内容]

大阪湾・伊勢湾などの富栄養化した内湾では、夏季に下層の溶存酸素濃度が低下し、深刻な環境問題を引き起こしている。長年にわたる陸上からの汚濁負荷量の削減にもかかわらず、近年、多くの海域で貧酸素化が進行している。本研究では大阪湾の深部から浅海部までの酸素濃度の変動機構と変動原因を明らかにした。また、貧酸素水塊の長期変動のよく分かっていない海域（燧灘、周防灘、播磨灘）での底層酸素濃度の長期変動を明らかにした。さらに、神戸港・尼崎港を対象として防波堤で囲まれた強閉鎖性海域の貧酸素化機構の調査を行った。伊勢湾の貧酸素化についてシンポジウムを開催すると共に、貧酸素水塊と青潮について二つの雑誌で特集号を編纂した。